

# 令和3（2021）年6月市長定例記者会見の概要と質疑応答

令和3（2021）年6月2日（水曜日）  
午前11時～11時53分  
柏崎市役所多目的室

## 1 発表事項

### (1) 新型コロナワクチン接種が進んでいます

（主管：健康推進課）

5月18日から、柏崎市内でも新型コロナワクチン接種が始まりました。新潟病院では、6月1日から一般の方々の接種が始まり、柏崎総合医療センターでは、6月3日から接種が始まります。柏崎厚生病院でも、6月下旬には接種を始めていただける予定です。病院の方々、柏崎市刈羽郡医師会の先生方、薬剤師会の皆さま、看護協会の皆さまの全面的なお力添えで、今のところ順調に進んでいます。

現在の市内65歳以上の方々の接種状況をお話します。一般高齢者と高齢者等施設に入所されている65歳以上の方は28,944人います。その中で接種済みの方は7,289人、接種率は25.18パーセントです。2回目も接種済みの方は629人、接種率は2.17パーセントです。

次に、予約状況をお話します。高齢者施設の方々を含まない一般高齢者の方は、27,513人います。その中で予約済みの方は24,298人、予約率は88.31パーセントです。まだ予約方法が分からない方などもあると思いますので、予約率は今後90パーセントを超えると思います。もちろん接種は義務ではありませんが、接種の意味なども広報させていただきたいと考えています。

今ほど申し上げた予約済みの24,298人の中で、1回目接種済みの方は5,908人、接種率は21.47パーセントです。2回目接種は6月8日以降です。

高齢者等施設に入所されている方々の接種状況をお話します。接種予定者は1,431人います。その中で、1回目接種済みの方は1,381人で接種率は96.51パーセント、2回目接種済みの方は629人で接種率が43.96パーセントです。高齢者等施設で働いている方々も含めて、1回目の接種率は100パーセントに近いところにきています。

次に、今後の接種スケジュールをお話します。高齢者等施設入所者の方々の接種は6月24日までに終わる予定です。一般高齢者の方々は、7月31日までに終わる予定です。また、施設などに入っていない高齢者の方で接種会場へ行くことが難しい方に対しては、ご本人の意

思を確認して、医師会の先生方や看護師の皆さま方のお力添えをいただきながら、ご自宅での訪問接種というかたちで対応させていただきます。期間は今月中旬から7月31日までを予定しています。

64歳以下の方々への接種は、ワクチンが供給され次第、開始させていただきたいと考えています。ワクチンが柏崎市に到着するめどが立てば、すぐにでも接種が始められるように、予約券発送などのスケジュールを組みたいと思います。一刻も早く市民の皆さんに接種していただけるように、あらゆる団体、組織にお力添えをお願いしていきたくと思っています。また、国からはまずワクチンをしっかり供給していただきたい、その日程をはっきりしていただきたいと思っています。

続いて、職場での接種についてお話します。今日から、私が直接市内の大きな事業所の社長とアポイントメントを取り、職場での接種の協力要請をしていきます。職場でのワクチン接種が進めば、集団接種会場にお越しいただく方の数は減ります。職場での接種が可能かどうか、職場での接種のために行政がどのようなお手伝いをすればよいかなどを確認しながら、私自身が伺うつもりです。

最後に、キャンセルのあったワクチンについてお話します。キャンセルがあった場合はどうするのかという話が話題になっていますが、柏崎市は基本的に、現場でワクチン接種に関わっている職員などに接種させていただいています。今のところ柏崎市のワクチン接種は順調に進んでいると思っていますので、今後、余裕やキャンセルが出た場合には、公立、私立問わず保育園・幼稚園の保育士や教員の方に充てたいと考えています。そして、市長、副市長、危機管理監、福祉保健部長の4人は、保育士と同様に、キャンセルなどが出た場合は随時接種させていただきたいと考えています。報道や市民の皆さんの意見も踏まえて、どうしようかと思っておりましたが、市民の方々から市長は早く打ったほうが良いという声もいただきましたので、柏崎市がさまざまな複雑な案件も抱えていることも含めて、キャンセルなどが出次第、接種させていただきたいと考えています。

## **(2) 東京 2020 オリンピック聖火リレー開催**

(主管：スポーツ振興課)

6月4日、金曜日の午後2時15分から2時50分までの35分間という短い時間ですが、上越市から聖火を引き継ぎ、柏崎市内で聖火リレーをさせていただきます。新型コロナウイルスの状況もありますので、極めて簡素に、皆さんに集まっていただくことはしません。一方

で、聖火リレーをさせていただくことを誇りに感じながら、思いを込めて聖火リレーをさせていただきます。

聖火ランナーは、県の実行委員会枠の3人とパートナー企業などの選考枠12人を合わせて15人です。約2.8キロメートルの間、聖火をつないでいただきます。

駅前公園で午後2時ごろからミニセレブレーションを行い、みなとまち海浜公園の夕日のドームがゴールとなります。私どもの聖火がゴールした後は、佐渡市に渡ります。かつて佐渡市に合併する前、柏崎市と小木町は夫婦都市でした。さらに昔のお光・吾作の佐渡情話の縁があるところでもあります。

### **(3) 市内 21 地区目のくらしのサポートセンターが開所**

(主管：介護高齢課)

松波地区に、市内 21 地区目のくらしのサポートセンターとなる「松波すず風の家」を7月2日、金曜日に開所します。くらしのサポートセンター事業は、高齢の方々が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく生き生きと過ごすことを応援し、運動などの楽しい介護予防で健康をサポートする事業です。例えば、コツコツ貯筋体操をしていただいているところがあれば、お茶飲みをしていただいているところもあります。松波という地域は、3千人以上住んでいる、柏崎で一番大きな町内会です。大きな町内会なので、くらしのサポートセンターは曜日によって松波会館、集会所やコミュニティセンターなど場所が変わります。

### **(4) 住民参加の水害対応総合防災訓練を実施**

(主管：防災・原子力課)

水害対応総合防災訓練は毎年行っていますが、今年は6月20日の日曜日に田尻地区と北鯖石地区で行います。対象地区には約1万2千人が住んでいます。大雨警報が出たことを想定して、地区の方々に避難訓練に参加していただきます。主に、鯖石川の河川水位が上昇して、はん濫、堤防決壊の恐れがある状況を想定して行います。鯖石川はかつて何度もはん濫や堤防決壊、越流がありましたので、まさにリアルな訓練になるだろうと考えています。もしもの時に、市民の皆さんの安全が守られるように、行政も、また、地域の方も自分の身を自分で守るという意識を高めていただくための訓練です。

その前日の土曜日には、新庁舎に移転して初めての職員災害対応訓練を行います。

## (5) 初開催！ーカヌーまつり in 栃ヶ原ダム

(主管：農林水産課)

旧高柳町にある栃ヶ原ダムは、国の直轄で行われた土地改良事業の一環で作られた大きな美しいダムです。非常に美しいダムなので、半年ほど前から国営土地改良の事務所とも協議して、異例ですが、農業用ダムにカヌーを入れられることになりました。子どもたちにダムの大切さ、周辺の自然の美しさを体験してもらいたいということで、こども自然王国のスタッフから手伝ってもらい、栃ヶ原ダムでのカヌーまつりを7月3日の土曜日に初開催します。対象は小学校5年生以上ですが、親御さんからも一緒に来ていただきたいと考えています。併せて、帰りにじょんのび村に立ち寄っていただきたいと思います。

## 2 質疑応答

### ◎新型コロナワクチン接種に関する質問

**記者：当初、接種はかなり混雑したり、時間がかかなり遅くなったりしていたと思うが、これは解消されたのか。また、解消するためにどのように対応したのか。**

市長：当初、皆さんにご迷惑をお掛けしましたが、結論から申し上げますと混雑は解消されました。接種初日、2日目の状況は、私も3時間ほど現場にいましたが、午後2時からの回はうまくいっていました。ところが、午後4時からの回や午後4時半からの回になると、接種予約時刻から2～3時間かかってしまったという事例がありました。

先週土曜日に、また現場を確認しましたが、午後2時からの回の方々は、45分で会場から帰られました。最終回である午後4時30分からの回の方々も、1時間10分ほどで帰られました。1時間もかかるということでお叱りをいただくかもしれませんが、市民の皆さんからはスムーズだという声をいただきました。

混雑解消のために、まず受付などのブースを増やしました。次に、予診からワクチン接種への流れをスムーズにするために、それぞれ混み具合を確認しながら誘導や調整を行いました。また、次回予約に時間がかかるので、次回予約の場所を2階から1階に変更し、看護師の方の控えブースも別の場所に移させていただきました。

**記者：大きな事業所には、市長自ら赴いて接種をお願いするということが、事業所名を伺いたい。また、64歳以下の方の接種が今後始まるが、年齢区分など、どのような順番で行うのか。**

市長：東京電力、ブルボン、植木組やリケンなどにご挨拶しながらお願いしていきたいと考えています。

64歳以下の方々の接種は、国からのワクチン供給の確約をいただいてからになりますが、一気に全員ということではなく、例えば5歳刻みや3歳刻みのように年代を区切って予約を受け付けることを考えなければならないと思っています。

**記者：64歳以下のワクチン接種の方法は、現在のような集団接種に新たに3つの病院を加え、**

**さらに柏崎中央病院とも協議中ということで、集団接種が基本でよいか。**

市長：集団接種に加えてクリニックや診療所などでの個別接種の可能性についても現在協議を進めています。旧市役所だけで、1日に約600人の接種をしていますが、加えて柏崎総合医療センター、新潟病院、中央病院、厚生病院、さらに個人のクリニック、診療所の協力をいただき、1日の接種数が増える可能性はかなり高くなってきたと考えています。

**記者：64歳以下の接種開始も6月中にという話があった。集団接種会場は65歳以上の方たちでかなり埋まってしまうと思うが、64歳以下の接種は6月中のどこで始めるイメージか。**

市長：現実的には6月からはなかなか難しいので、7月から始められればと思っています。ワクチンが届くことが前提ですが、接種券などの送付は6月から行えるなら行いたいと思います。7月から接種が行えるならば、旧市役所の会場は65歳以上の方々に埋まっていますので、土曜日、日曜日の早い時間、平日の夕方などが可能性として考えられます。そのために、各関係者の方々にお問い合わせや協議を始めたところです。

**記者：キャンセル分のワクチンの接種は、まず旧庁舎で接種業務に携わっている市職員が接種し、それでも余っている場合は保育士、幼稚園教諭、それと並んで市長や副市長が接種するという考え方でよいか。**

市長：基本的にはその通りですが、私、副市長、危機管理監、福祉保健部長も頻繁に旧市役所に行っていますので、いわゆるワクチン接種に従事している者ということになります。急ぎの話なので、すぐに連絡がついて接種できる人が接種するということになります。

**記者：先ほど、柏崎市はさまざまな複雑な案件を抱えていると話されたが、具体的に伺いたい。**

市長：新型コロナウイルス感染症に関しては、日本中が対応しています。柏崎市が他の自治体と違うのは、東京電力に関係する、もしくは関係する事業所の方々から一定規模の陽性者が出たという部分です。それに関連して、例えば市役所への来訪者に市外、県外の方々も多

くいらっしゃいます。そういったことが複雑な案件のひとつとご理解いただければと思います。

**記者：資料に記載されている接種スケジュールは、60～64 歳、40～59 歳と記載されているが、このくくりで進めるということによいか。**

市長：ワクチンの供給状況によります。例えば、60～64 歳の対象は 5,700 人ですが、柏崎にワクチンが 3 千しか来ないということになれば、もう少し細かく年齢を分けざるを得ないと思っています。

**記者：旧庁舎で従事している職員は何人ぐらいか。また、保育園や幼稚園の教職員は何人ぐらいか。**

福祉保健部長：医師、看護師を含めると 80 人を超えますが、事務方はほぼ 60 人台です。ただし、毎日同じ人間がいるわけではありません。総数の資料は今持ち合わせていません。保育園、幼稚園については、あくまでも本人が希望された場合になりますので、調査をして集約してみないと何とも言えません。

**記者：キャンセルが出た場合に接種するということが、市長、副市長、危機管理監、福祉保健部長の接種時期はいつぐらいになりそうか。**

市長：キャンセルが毎日 10 や 20 出ることはないと思いますので、分かりません。しかし、マネジメントする側が感染してはいけないという観点から、接種させていただくと決めた以上は、キャンセルが出次第早めにと考えています。

1 日に何件ぐらいキャンセルがあったか分かりますか。

福祉保健部長：日によってばらつきがあります。キャンセルだけでなく、会場にお越しになってもドクターの予診の結果、その日は見送った方がいいという方もいらっしゃいます。はっきりとした数は申し上げられませんが、10 や 20 という数字でキャンセルが出るということは今のところありません。

**記者：市長がキャンセル分で接種するときには、事前に報道機関に告知などはあるか。**

市長：キャンセルが出たのでこれから接種をしますという連絡はできないと思いますが、ご要望であれば接種をしましたということは連絡させていただきます。

**記者：基礎疾患を有する方を優先するとあるが、全て把握しているのか。**

市長：基本的に申告制ですので、基礎疾患がありますという方は皆さん基礎疾患があるということになります。これからインターネットの予約環境の中で基礎疾患を有する方というチェック事項を作りたいと考えています。

**記者：キャンセルが出た場合の優先順位で、保育園と幼稚園の方々を対象にした理由を伺いたい。**

市長：他市では小・中学校の先生という事例もあると承知していますが、保育士や幼稚園教諭の方が子どもたちに近いところで接すると判断しました。

**記者：市長が大規模事業所をお願いに行くということだが、例えば従業員何人以上などの目安はあるのか。**

市長：産業医をお持ちで、それ相応の事業規模、従業員数でないとなかなか厳しいと思います。明確な基準はありませんが、一般的な感覚として先ほど申し上げたところを対象とさせていただきたいと思います。

**記者：今のところ何箇所ぐらいをお願いする予定か。**

市長：4、5箇所ぐらいです。もちろんこれは私どもの要請なので、事業所側が難しいということもあると思います。突然の話ですし、それぞれの事業所の事情もあると思います。私どもとしては、要請というかたちでお願いに伺うというところです。



## ◎東京 2020 オリンピックの聖火リレーに関する質問

**記者：**新潟県内では今のところ公道を走ることになっているが、県独自の警報が出ている中で公道を走ることへの市長の受け止めに伺いたい。

**市長：**オリンピック開催も含めて悩ましいと思います。しかし、私どもとしては、聖火リレーの開催地に選んでいただき、水球、セーリングから何人ものオリンピックが出るのが決定していますので、応援したいという気持ちはあります。開催するからには、極めて制限が付いたものではあります、できる限りのところで応援させていただきたいと思っています。

## ◎東京 2020 オリンピックの事前合宿に関する質問

**記者：**新潟市はロシアが事前合宿を行わないことになったが、柏崎市の水球関係の現状どうか。

**市長：**今のところ中止するというような話は聞いていませんので、予定通りお越しになると思います。私どももそれに対応します。

**記者：**柏崎市内は現在感染が落ち着いていると思う。水球選手がどうこうということではないが、感染が広がるような懸念もあるかと思う。その辺りどのように考えているか。

**市長：**柏崎市、セルビアとモンテネグロの双方の問題もありますので、それぞれ状況が急変した場合には、残念ながら中止になる可能性も想定しています。

**記者：**いつから合宿に来るといような具体的な連絡は来ているのか。

**スポーツ振興課長：**いつからということについても調整中です。